



# やげん 薬研



※「薬研」とは、昔本院で漢方薬を調剤する際に、薬種を砕いたり、粉末にするために使用した器具で、正面玄関に飾ってあります。  
※ 当院は①日本医療機能評価機構②人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

## 東日本大震災に際し思うこと

くろすみ ひろあき  
内科(副院長) 黒住 泰明

まずはじめに、このたびの震災で被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

当院でも、義援金を募り、日赤を通じて先日約115万円を寄付させていただきました(ハート合唱団のチャリティコンサートでも4万円集まりました。ありがとうございました)。

神戸の震災の時にも感じたことですが、地震や台風など、激しい天災がおこった時には、人間はこれほど無力なのかと思知らされます。天災以外にも、伝染病や戦争、異常気象に起因する食料不足など、我々の生命を脅かすものは非常に多く、人間が天寿をまっとうできるようになったのは、今世紀になってからの先進国においてのみではないでしょうか?(発展途上国では、今なお飢饉や貧困、伝染病などの問題は克服されたとはいえません)

そう考えると、平均寿命が80歳をこえている日本とい

う国は、なんとすばらしい国だろうと思うのです。それは公衆衛生を改善し、物資や食料の生産と流通のしくみを整備し、医療技術を進歩させて色々な病気を克服してきた先人の英知のおかげだと思うのです。しかし、その人類の英知をもってしても地震や異常気象などの予知や制御は困難なことであり、この宇宙船「地球号」は、決して安全な乗り物ではないと思います。だからこそ我々人類は決して争うことなく、この不自由な乗り物に、席を譲りあい、助け合って搭乗していくしかありません。たったひとつしかない、かけがえのない地球なのですから。



### 病院の理念

- 患者さん中心の医療
- 高水準の医療の提供
- 地域の健康を支援する病院
- 働きがいのある職場づくり

### 患者・家族の皆様の権利

- 良質の治療を受け、安全が確保される権利
- 自己決定権および選択の自由の権利
- 尊厳を確保する権利
- 個人情報の機密保持と医療情報の開示を受ける権利
- 健康教育を受ける権利

### 花こよみ

#### 番外編

むむむして暑い季節ですね。今回は竜王山「相栗峠」近くで撮ったものです。この写真で涼しさを感じてくださいね。



文と写真：M.H



## コラム

### ケールジャパン

おおばやし せいいち  
会長 大林 誠一



この度の東北地方の大災害で、日本人の姿勢が本当に立派だと世界中が感動しています。日本人よりも、日本の心を知るドナルド・キーン氏は、日本人が騒がないのは、仏教の無常観より儒教の心底に「してはいけないこと」を持っているためと話されています。しかし、儒教の日本伝来より百年前に魏志倭人伝にすべての日本人を「窃盗せず、訴訟も少ない」との記録があり、我々のDNAの中に世界に誇れる多くのケールジャパンが刻まれていたと思われます。

小生一家と親しく交際しているニュージーランドのトム医師一家が日本に来て自動販売機の前で珍しそうに記念写真を撮っていました。どうして?と問うと、ニュージーランドでは自販機を設置すると一夜にして破壊され、品物や金銭は略奪されるのだそうです。日本とはそれだけ幸せな国なんでしょうね。



自動販売機の前で写真を撮るトム医師

また、仏教を勉強していた、オランダのD嬢もキリスト教より哲学的な日本の仏教に興味を示されたようです。日本の大乘仏教の「唯識」が20世紀の深層心理学者のフロイド・ユングに先駆けて、無意識の世界を解明し、座禅・瞑想により悟りの世界へと導いたことを日本人は決して忘れてはいけません。

# TRIANGLE

～キナシ デキゴトロジー～

■キナシ大林病院における様々な出来事に対して、多方面の『角度(ANGLE)』から意欲的に接近しようとする『試み(TRY)』

■病院の立地⇒『川』『鉄道』『道路』に囲まれた、『トライアングル(TRIANGLE)地帯』

キナシ大林病院  
すみれ保育所  
だより



▲スパイラルアップ発表会 (H23.5.26とH23.6.2)  
少しでもよりよい病院にするため、各部署ごとに発表を行いました。

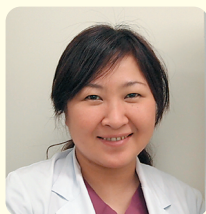
## 新規採用職員 オリエンテーション



▲新規採用職員オリエンテーション(H23.4.1)  
施設の見学をしながら、勤務時の注意点などを聞きます。



▲すみれ保育所だより(H23.4.28 こどもの日)  
先生のお話をみんな一生懸命聞いています。



## 眼科

眼科医師  
ふじさわ あや  
藤澤 綾

当院眼科診療は、医師1名、看護師1名、視能訓練士2名(常勤1名非常勤1名)、事務1名で行っております。月、土は午前と午後の外来診療でその他は午前中のみ外来、午後は予約制の検査や手術にあてており眼瞼下垂などの外眼部手術と白内障手術を週2～4例施行しております。眼科は特殊な検査が多く、視野検査や斜視検査、蛍光眼底造影や網膜レーザー凝固術などを外来で行っています。

最近、新しく光干渉断層計(OCT:Optical Coherence Tomography)という検査機器が導入されました。光波によるエコー情報をもとに網膜層を映し出すのですが、まるで光学顕微鏡で観察される組織切片のように細胞層がはっきりと見え、肉眼ではなかなか見分けることができない、組織レベルでの画像診断ができるようになりました。

今までは蛍光眼底造影が必要だった症例も、数秒で非侵襲的に検査をすることができます。主に黄斑の病変、糖尿病網膜症による黄斑浮腫や、加齢黄斑変性の診断に有用です。特に加齢黄斑変性は増加傾向にありますし、香川大学で治療が行われております。まず当科で診断し、治療の適応があれば大学病院へ紹介いたしております。

検査に予約は必要ありませんので、視力に不安がある方はいつでもおいでください。

## 診療科紹介

※診療日など詳しくはホームページをご覧ください。  
Up-to-date (最新情報)



## 神経内科

神経内科・リハビリテーション部長  
たかた ひろし  
高田 裕

神経内科というどのような事を行っている診療科なのかと疑問を持たれる方もおられるかもしれません。簡単に説明するのは難しいのですが、神経系(中枢神経と末梢神経)の異常により引き起こされる疾患を扱う診療科で、さらにこれらの疾患を身体の問題として検索して行くのが神経内科、心からのアプローチを行うのが精神科あるいは心療内科といったところでしょうか。

したがって対象とする疾患は脳卒中中等の脳血管障害から神経系の感染症(髄膜炎など)中枢神経の免疫学的異常により引き起こされる多発性硬化症と言った疾患やパーキンソン病のような原因不明の神経難病と言われる疾患まで多岐にわたります。また、よくある症状として頭痛、めまい、手足のしびれを有する疾患の診療は得意とするところ です。

当科のラインナップは常勤医3名、非常勤医2名の他、経験豊かな看護師、事務系スタッフさらには検査、放射線、リハビリ、栄養、MSW、他、いろいろな部門のスタッフとタイアップして診療を進めております。当科のもう一つの特徴は前述しました、心からのアプローチも得意としているスタッフがいます。

入院に関して若干の制約があるため、全ての神経系疾患に対応できるとは申せませんが、多彩な疾患に対応できると自負しております。ご相談等お気軽にご連絡下さい。



研修医  
ひがさ なおや  
樋笠 直哉

香川大学を卒業後1年間大学で研修した後、当院で4月より研修をさせていただいております。当院で研修を初めて早3ヶ月が経ち、半年間の研修も折り返し地点に差し掛かっております。未だ勉強中の身であり、至らない点も多々ありますが、一日も早く一人前の医師として患者さんの健康と香川県の医療に貢献できるよう精一杯努力していく所存です。長いようで短い研修期間ですが、どうぞよろしくお願いたします。

## 研修医挨拶



研修医  
さむかわ やすし  
寒川 泰

2011年4月から地域医療の枠で3ヶ月間、キナシ大林病院で研修させていただきました。内科、透析センターでの業務や訪問診療への参加を通じて、患者さん中心の医療や地域に密着した医療のあり方というものを経験し、社会への貢献の形のひとつとして学びました。研修期間中にご指導、ご支援して下さった方々に感謝いたします。



# 地域健康推進イベント 写真レポート♪



ゴールデンウィーク前の4月24日(日)、地域健康増進イベントを行いました。

風がとても強かったため、プレイランドが屋内になるなどハプニングもありましたが、たくさんの人に来ていただきました。今回は、その様子を写真で紹介します。



▲総合受付準備中。  
カメラ目線ありがとう。



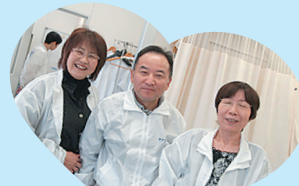
▲健康相談コーナーでは、たくさんの人が、  
親身になって相談に乗る先生方。



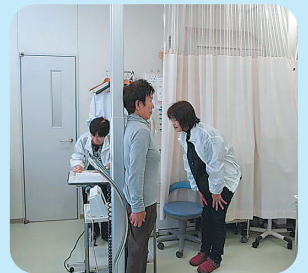
▲私の発言にも嫌な顔せず  
対応してくれた心疾患委  
員会のお二人。



▲腎臓病について説明中。



▲ちょっと～！両手に  
花ですね～。



▲健康チェックコーナー。  
体重や身長などをはかっ  
たり、みんな自分の結果  
を見て一喜一憂。



▲バザーはOBの皆さんも  
お手伝いしてくださいま  
した。  
ありがとうございました。



▲お食事中をパチリ。  
おじゃました。



▲プレイランド。  
真剣に射的中です。



▲おっ、こちらにも両手に花♪  
でも、表情が硬いのは講演会  
の司会前だから(笑)



▲ドックの見学にもたくさん  
来てくれました。



▲たくさんのお花  
ありがとうございました。



▲講演会やコンサートには、たく  
さんの観客が！

今回、もっとたくさん写真を撮りましたが、紙面の都合でこれだけになりました。でも、イベントは大成功だったと思います。ご参加くださったみなさん、ありがとうございました。



スタート!

すころく

2階病棟が出来るまで♪



▲H22.8.2  
ここから始まりました。



▼H22.8.24  
もうアスファルトが  
なくなってます～!

▼H22.9.17  
土台を作ってます。



▲H22.10.16  
何本も頑丈な柱が  
たってます。



びっくりするくらい  
暑くなってしんどい  
ので1回休む←オッ!



▼H23.10.25  
2階が出来てきました。  
作業員さんお疲れ様です。



▲H22.11.24  
4階からじゃないと  
撮影できなくなってきました。



▼H22.11.30  
ベールをかぶってるけど  
全体像が見えてきました。

▼H23.3.11  
渡り廊下もできて  
とうとうつながりました。



▼H23.3.3  
ベールを脱いだ  
2階病棟～!



やった～!  
新しい病棟で患者さん  
を看護できる～～!

ぞ～る!!



昨年の8月から始まった2階病棟の工事も、こうして振り返ってみると早いものですね。工事の様子を“すころく”で表現してみました。ありがとうございました。(C)

▲屋上庭園が見える病室



## 職場紹介

## 2階病棟（療養病棟）

# Zoom in

おおいし のぶこ  
介護福祉士 大石 信子

2F病棟は平成23年5月1日に第2病院から本院に統合され、新たにスタートしました。スタートと同時に電子カルテの導入・新しい環境・看護師不足などの条件が重なり目まぐるしい日々が過ぎようとしています。

場所はリハビリ室と庭園の間の廊下を渡ったところにあり、北側の先端が尖り、船のような形をしています。ベット数は個室が5室・2床室が1室・4床室が12室の計55床です。

一般病棟と違い療養上のお世話の比重が大きい病床ですが、患者さんの重症度の上昇に伴い医療行為の業務も増大してきています。特徴としてはほとんどの患者さん（経管栄養以外）が生活リハビリをかねてデイルームで食事を

されています。そしてほぼ全員の方が入浴しています。今回、浴室も広くなり、新しく導入された特殊浴はシャワー椅子の



写真 前右から2番目  
西谷美代子（にしたに みよこ）師長

まま入浴ができて一人一人お湯が入れ替わるようになっていました。肩掛けシャワー・ジャグジーの機能もあり患者さんからも大好評です。

広いデイルーム・広い浴室・高い天井や窓で広く明るい病室となっており、ゆったりと療養していただけるのではないのでしょうか。スタッフも気持ちを新たにし、

患者さんや家族の方に安心していただけるようにサービスの質の向上に努めていきたいと考えています。



写真 左端  
大石信子（おおいし のぶこ）介護福祉士



写真 前列中央 谷本邦彦（たにもと くにひこ）名誉院長  
前列右から3番目 井尻巖（いじり いわお）医師

HD  
(透析)

## 透析室の災害時マニュアル

いわどう ひろみ  
内科医師 岩藤 広美



東日本大震災により多くの方々が大変な被害を被られました。私達透析スタッフも医療に関わるものとして災害とその及ぼす影響について非常に衝撃を受けています。

災害時4～6日間透析を受けられない状況が生じた方々もおられました。このため、非常時をいかに乗り切るか対策を立てておくことは重要です。今回の震災をうけて当院透析室の災害時マニュアルの見直しを進めています。大きな変更はないと思われませんが、自分の透析歴、透析条件の情報、現在の内服薬の一覧と予備、他県の透析可能病院の一覧、患者団体の連絡先などを確認していただければと思います。災害時、当院との連絡方法として伝言ダイヤルの使用を考えています。

また透析室で災害にあった場合の対応や透析中であった場合は、透析からの緊急離脱が必要になること想定されますので、この方法なども、ご不明のときにはスタッフにお声をかけてみて下さい。

人間  
Dock

## 人間ドックの目的とは

ふくしま やよい  
健診部 福島 八代生



人間ドックとは、私達の身体に異常が起きていないかを定期的に点検するところです。

「ドック」の語源は、船が航海の合間にドック入りして点検・修理する場所に使うドックに例えて「人間ドック」と言うようになったようです。

私達は普段何気なく生活していますが、自分では健康だと思っていても「ガン」や「生活習慣病」に「じわじわ」と身体が触まれているかもしれません。いろいろな症状が出てきて、病気が発見された時にはすでに進行していて、とても危険な状態になっていたということのないように、身体の危険信号をいち早く察知して病気を積極的に予防すること、そして、病気になるための指導をし、その生活習慣づくりをすることが人間ドックの目的だと思います。

御自分の健康を見直す機会になりますので、みなさんにも年に一度の受診をお勧め致します。

人間ドック直通 Tel.087-881-3218

## 心臓病教室のご案内



いのした みなこ  
栄養科 井下 美奈子

当院では、毎月第4金曜日13:15～14:00に心臓病教室を行っております。黒住副院長と一緒に、看護師、薬剤師、理学・作業療法士、検査技師、栄養士が毎月交代でお話をさせて頂いています。ご参加お待ちしております。

心臓病教室	とき	毎月第4金曜日午後1時15分～2時
	ところ	3階会議室
糖尿病教室	とき	毎週金曜日(第4金曜日を除く)午後1時20分～2時
	ところ	4階カンファレンス室
腎臓病教室	とき	毎月第4土曜日午後1時～2時
	ところ	3階会議室

**食について** 今回は減塩食の1品料理をご紹介します。

### アジの南蛮漬け

(当院1人前分量)

- カロリー 268Kcal
- 塩分 1g



白ねぎ 30gは5センチくらいの長さで切って焼き目をつけ、玉ねぎ 20gは薄切りにしておく。唐辛子は種を取り除いて輪切りにする。

内臓とセイゴを取ったアジ 80gは、小麦粉をまぶして油(20g)でカリッとするまで揚げ、漬け汁(酢 20cc、砂糖 5g、しょうゆ 6cc)に、準備しておいた白ねぎ・玉ねぎ・唐辛子と一緒にいれ、冷蔵庫で1時間ほどつければ出来上がり。  
※漬け汁をノンオイルの和風ドレッシング 20gに変更すると塩分が0.3g少なくなきます。

## おめでとうございます

### ■合格

日本糖尿病療養指導士  
福井 圭子(検査科・臨床検査技師)  
超音波検査士(健診領域)  
田辺 啓介(検査科・臨床検査技師)

### ■取得

臨床検査学修士(大学院修士課程修了)  
宮川 朱美(検査科・臨床検査技師)

東日本大震災義援金  
**114万5746円**を  
日本赤十字社に納付  
させていただきました。  
ご協力ありがとうございました。  
ございました。

## 声・こえ・Feed back・フィードバック

御意見箱に寄せられた皆様方のご意見と、病院長からの返答を抜粋で記載します。  
(期間：平成23年4月～6月)

- Q** 受付に置いている杖置きがとても便利で助かっています。会計のところにも置いてください。
- A** ただいま設置するようにしています。
- Q** 1階にある女性用トイレのウォシュレットが2個とも使えない。どうかしてください。
- A** 日々点検を行うようにしていますが、今回点検が行き届いていなかったようです。申し訳ありません。今後、このようなことがないように努力してまいります。
- Q** 身体障害者用のトイレのセンサーの所に、水を流すスイッチの表示をしてもらいたい。わからないのか、使用後流していないことが多く、不快に感じる。
- A** 水を流すセンサーの位置がはっきり分かるようにポスター等で表示するようにします。
- Q** 紹介状をいただいて心療内科に通ってました。心療内科の先生に親身になっていただき、快方に向かえました。本当に感謝しています。ありがとう。
- A** ありがとうございます。これからもこのお言葉に恥じぬよう、職員一同より一層努力してまいります。

## 新

### 職員紹介

- 職種
- 部署
- 採用日
- 出身地
- 趣味



みずた ひかる  
水田 光

①臨床工学技士②CE科③4/1④愛媛県⑤剣道



きくち さやか  
菊池 紗綾香

①看護師②7階病棟③4/1④香川県⑤ショッピング・スノーボード



はまがき さちこ  
濱崎 祐子

①看護助手②2階病棟③4/1④香川県⑤ウォーキング・温泉



みかみ ゆきこ  
三神 有希子

①看護師②外来③4/1④香川県⑤カフェめぐり



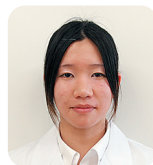
こばやし みさこ  
小林 三紗

①看護師②2階病棟③4/1④香川県⑤車・寝ること



みやわき みく  
宮脇 実玖

①看護師②6階病棟③4/1④香川県⑤買い物・音楽鑑賞



おざき えりな  
尾崎 絵里菜

①保健師②健診部③4/1④香川県⑤ドライブ・旅行



もとやま あやね  
元山 文音

①看護師②5階病棟③4/1④香川県⑤ショッピング



いとう なおこ  
伊藤 直子

①視能訓練士②外来③4/12④香川県⑤バドミントン



うえだ じゅん  
上枝 淳

①言語聴覚士②リハビリ③6/1④徳島県⑤音楽演奏・スポーツ



まつもと ひさの  
松本 久乃

①看護師②7階病棟③4/18④高知県⑤音楽鑑賞



もりき しほ  
森崎 志保

①看護師②5階病棟③4/25④京都府⑤おいしいものを食べる



たなか まい  
田中 舞

①看護師②外来③6/1④香川県⑤海外旅行・K-POP鑑賞



しおた なおこ  
塩田 菜穂子

①言語聴覚士②リハビリ③6/1④徳島県⑤料理・ドライブ



あおやま ちえみ  
青山 智恵美

①調理員②栄養科③6/1④香川県⑤サッカー観戦

診療実績			
	3月	4月	5月
外来患者数	13,123人	12,968人	13,211人
新入院患者数	196人	152人	156人
退院患者数	182人	166人	163人
地域医療支援病院紹介率	15.6%	19.9%	14.3%
救急車搬入件数	30件	43件	33件
救急車搬入後の入院数	18人	24人	16人
手術件数	61件	51件	44件

## 編集後記

今年は、日独交流が、プロイセンとの修好通商条約から150年の記念すべき年です。

明治の日本は法律、医学、軍事、音楽、文学など多くのことをドイツから学びました。ドイツでは中世の町並みが残され、日常生活は質素です。冬は暖炉、ロウソクでの生活もみられます。

だからこそ、ドイツでは原発廃止を決めることができたと思います。日本人もかつては、うちわと蚊帳で暑い夏をすごしたものでした。今年の夏は頑張って節電しましょう。(K)